

1月例会『最高の花婿』

1月24日(水)フランスのコメディ映画

新年明けましておめでとうございます

昨年は、加古川シネマクラブ 15 周年記念として、5 月例会『ベトナムの風に吹かれて』と大森一樹監督のトーク、7 月例会『この世界の片隅に』、9 月例会『湯を沸かすほどの熱い愛』と 3 例会連続日本映画楽しみました。

ただ、10 月に代表委員の津村さんが旅立ち、運営委員一同気落ちしておりましたが、11 月例会で運営のご協力をお願いしたところ、封筒のあて名書きをします、例会当日の受付をします。と たくさんの方に声をかけていただき、本当にありがとうございました。会員数は相変わらずですが、「共感もてる映画」「良質な映画」「心暖まる映画」を選び、「人との出会い」を大切に、また一年頑張っていこうと思います。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

例会のお知らせ

■名称/第94回例会 『最高の花婿』

■日時/2018年1月24日(水)

①PM2:00~、②PM4:20~、③PM6:40~

■場所/加古川総合文化センター大会議室

(JR 東加古川駅から北へ徒歩 10 分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ 600m)



■受付/入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡してください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■タイトル/最高の花婿

原題/QU'EST-CE QU'ON A FAIT AU BON DIEU?/SERIAL (BAD) WEDDINGS
別題/ヴェルヌイユ家の結婚狂騒曲

■監督/フィリップ・ドゥ・ショーヴロン

■出演/クリスチャン・クラヴィエ、シャンタル・ロビアーリ・アビタン、メディ・サドゥン、フレデリック・チョー、ヌーム・ディアワラ、フレデリック・ベル、ジュリア・ピアトン

■データ/2014年、アメリカ、1時間37分

■ジャンル/ドラマ、コメディ

■紹介/笑って泣ける映画が大好きな、選択眼の厳しいフランスの観客のロコミカで1300万人の観客数を突破、ハリウッド超大作を圧勝し2014年ダントツの興行収入第1位を記録、フランス映画歴代動員記録ベスト10へのランクイン(6位)も成し遂げた。さらに、国際結婚という、まさに今を生きるすべての人が向き合うべきワールドワイドなテーマを軽やかに描いたことが絶賛され、世界でも145カ国で公開。ヴェルヌイユ家と花婿たちの新たな絆に、愛のパワーを素直に信じたくなる、あったかくて力強い感動の物語が、いよいよ日本にも上陸する!

(作品ホームページから抜粋)

■ストーリー/フランスのロワール地方に暮らすヴェルヌイユ夫妻には、他人には相談できない悩みがあった。3人の娘たちが次々とアラブ人、ユダヤ人、中国人と結婚、様々な宗教儀式から食事のルールまで、異文化への驚きと気遣いに疲れ果てていた。そんな時、最後の希望だった末娘が、カトリック教徒の男性と婚約!しかし、大喜びの夫妻の前に現れたのはコートジボワール出身の黒人青年だった。しかも、フランス人嫌いの彼の父親が大反対。果たして、色とりどりの家族に愛と平和は訪れるのか?

(作品ホームページから抜粋)

私の映画KAN(「私のモンゴル紀行」)

「満天の星空の下でゲル宿泊と高原植物フラワーウォーク」といううたい文句に魅かれてモンゴル行を決めたのは、2017年春に観た『精霊の守人』と『ルンタ』の影響だったと思います。遊牧民の生活に興味を持ったのですが、ツーリストキャンプのゲルは専用のトイレ・シャワーまでついて申し訳ないほど快適でした。夜は毛布にくるまって草原で満天の星を観、冷え込んだ朝にはまきストーブに火を入れてもらい、朝夕にはゲルのすぐ前まで放牧された馬や牛がやってくる。遊牧民のゲルを訪問したり、放牧を見学する合間には、ゲルの前で草原と山と流れていく雲が地上に影を落とすのを眺めるのは飽きることがありませんでした。

そして、モンゴル行きを決めてから、ガイドブックを見て気づいたのが、モンゴルがチベット仏教の国だったということです。寺院には『ルンタ』(池谷監督)で観たマニ車がいくつも並んでいました。中に経典が入っていて一回まわすごとにお経を一回唱えたことになるといいます。現地のガイドさんに寺院に参る時、マニ車を回すときには、「オンアニバトミフン」と唱えるようにと教えてもらい、いくつも回して歩きました。後で調べたら、これは観音菩薩の真言だそうです。

山の中腹にあった寺院では、石を積み上げた塚に何本ものロープがはられ、風の馬の絵がかかれた旗(ルンタ)がいくつも風にはためいていました。思ってもよらない『ルンタ』の出会いに大満足で帰ってきました。(恵)

■題名/ルンタ ■監督/池谷薫

■2015年、日本のスタッフが制作、111分

■非暴力の闘いに込められたチベット人の心を描く衝撃のドキュメンタリー映画

忘年会を開催しました

今年の忘年会は、12月10日(日)に野口町良野の中国飯店で、明石シネマクラブの有志を含め計9人の参加で開催しました。近況や一年を振り返ったりしながら楽しい時を過ごしました。

前回例会の報告

11月16日の例会では、思春期の生徒たちが、一人の歴史教師との出会いで、一変して成長していった実話をもとに、教育と人との出会いの大切さを描いた作品『奇跡の教室 受け継ぐ者たちへ』を鑑賞しました。

参加会員88人、明石シネマクラブからの参加者4人で合計92人の参加者でした。

明石シネマクラブ例会情報

■名称/『ショコラ～君がいて、僕がいる～』

(2015年、フランス、119分)

■解説/黒人芸人ショコラと、彼を支え続けた白人芸人フティットの感動の実話。



奴隷の子として生まれ育ちながらも、フランス史上初の黒人芸人としてスターに登りつめたショコラと、彼を支えつづけた相方のフティット。ロートレックの絵のモチーフとなり、映画の祖・リュミエール兄弟の映画にも出演していた伝説の芸人コンビの人生を描いた感動の実話。名声を得たにもかかわらず忘れ去られていた“ショコラ”の半生が、その非業の死から100年を迎える2017年、ついに日本でも明らかに。「4歳からサーカスに出演していたジェームス・ティエレはチャップリンの実孫」というのも見どころです。

■監督/ロシュディ・ゼム

■出演/オマール・シー、ジェームス・ティエレ、クロチルド・エム

■日時/2月14日(木) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所/アスパア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容/加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付/会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://kagogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

会員数134人(11月16日現在)